**業績目録記載要領**

業績目録は、「１.管理・運営等に関する業績」「２．診療支援業務に関する業績」「３.教育・研究等に関する業績」とします。

「１.管理・運営等に関する業績」

　　　・病院や大学の管理・運営等に関して従事した業務内容・実績等について記載して下さい。

・委員会等に所属していた場合は、その委員会等の名称がわかるように記載して下さい。

・貴殿が医療技術部該当部門として相応しいと判断するために、付記する事項があれば、記載してください。

　　「２.診療支援業務に関する業績」

　　　・従事した職種、従事期間および年数について記載して下さい。

・従事期間が古いものから記載して下さい。

・貴殿が医療技術部該当部門として相応しいと判断するために、付記する事項があれば、記載してください。

「３.教育・研究等に関する業績」

・「３.教育・研究等に関する業績」は、「Ｉ．教育業績」「Ⅱ．研究業績」「Ⅲ．その他業績」に分けてください。

・「Ｉ．教育業績」については、技術職員への研修会、大学内外での技術職員への教育プログラム、非常勤講師など、形式自由で記載してください。

・「Ⅱ．研究業績」については、「a. 学会発表」、「b. 著書」、「c. 綜説」、「d. 原著」、「e. 症例報告」、「f. その他」それぞれの区分に応じて和文と欧文に分け、発表年代順に一連番号を付して記載して下さい。なお以下の点にご留意ください。

・学会発表は、特別講演、宿題報告、教育講演、シンポジウム、パネル・ディスカッション、ワ－クショ

ップ、一般発表等に区分して、年代順の番号を記載して下さい。

・上記については、発表者名（全員、本人に下線を引く）、メインテ－マ(シリ－ズものでは何回目か)、演題名、学会名、開催地、開催年等の記入を忘れないようにして下さい。

・国際学会・シンポジウム等のproceedingやabstractは、当該学会発表のところに記載して下さい。

・proceeding等を「b. 著書」、「c. 綜説」等に入れるときは資料を添付して下さい。

・in pressの論文（受理証明書 (写)を付けること）を含めることとしますが、投稿中及び準備中の業績は本目録から除くものとします。

・著者が複数のときは、本人に下線を引いて下さい。（コレスポンディングオーサーになっている場合は、＊で標記して下さい。）

・治験に関する報告論文は、「f. その他」の項に記載して下さい。

・科学研究費等の報告書は本目録から除外して下さい。

・業績の記載の様式は記載例にならって下さい。

・発表雑誌名はできるだけＩＳＩ Journal Citation Reportsに従って省略名を用いて下さい。

・「Ⅲ．その他業績」については、その他の診療支援業績や客観的評価の資料、一般市民への公開講座、社会的なアウトリーチ活動など、形式自由で記載してください。

（別紙様式２）（記載例）

業　　績　　目　　録

氏　名　山田　一郎

１．管理・運営等に関する業績

|  |  |
| --- | --- |
| 番号 | 　業務内容・実績等 |
| 1)2)3)4)5)6）7)8)9) 10) | 例）院内\*\*\*委員会委員業務（平成\*\*年\*\*月～）　　①各種法令要件のための業務担当　　②記録の整理および会議等の運営　　③測定記録，整備記録の業務等　　④…感染対策及び医療安全に係る統括業務（平成\*\*年\*\*月）1. 感染情報の部員へ周知・助言
2. 針刺し・粘膜汚染時の対応およびマニュアル作成

物品調達に係る業務1. …仕様策定委員、仕様策定作業（平成\*\*年\*\*月）

\*\*\*情報システムの構築作業，保守業務1. …

業務配置，人事・労務に関する業務治験に関する分担業務個人情報保護に関する情報管理業務災害医療に関する分担業務大学\*\*\*委員会委員業務（平成\*\*年\*\*月～）その他 |

 （注）書ききれない場合は，同様式により記入のこと。

２．診療支援業務に関する業績

|  |  |
| --- | --- |
| 番号 | 従事した職種、従事期間および年数等 |
| 1)2)3)4） | 例）臨床工学技士（＊＊＊検査）昭和＊＊年＊＊月～昭和＊＊年＊＊月　（＊＊年＊＊月）臨床工学技士（＊＊＊検査）昭和＊＊年＊＊月～平成＊＊年＊＊月　（＊＊年＊＊月）主任　臨床工学技士（＊＊＊検査）平成＊＊年＊＊月～平成＊＊年＊＊月　（＊＊年＊＊月）副技師長　臨床工学技士（＊＊＊検査）平成＊＊年＊＊月～平成＊＊年＊＊月　（＊＊年＊＊月） |

 （注）書ききれない場合は，同様式により記入のこと。

３．教育・研究等に関する業績

|  |
| --- |
| Ⅰ．教育業績技術職員への研修会、大学内外での技術職員への教育プログラム、非常勤講師など、形式自由で記載してください。Ⅱ．研究業績a. 学会発表……発表者名，メインテ－マ，演題名，学会名，開催地，開催年（国際学会、国外学会）１．Yamada,I Saito,H……:Health Promotion in 21century, 15th International Conference on Occupational Health, Stockholm, 1996  　（国内学会）　　　 １．山田一郎、太田五郎：アンドロゲン受容体転写制御，第148回日本泌尿器科学会，東京，2012b. 著書 （１）単著……著者名：書名，総頁数（発行所，発行場所）発行年 （２）共著……著者名：分担章題名，頁（編者名：書名，発行所，発行場所）発行年 （和文） （１）単著 １．山田一郎：人工弁の歴史，158頁（医学書院，東京) 1972 （２）共著 １．太田五郎、山田一郎：胸部外科における抗生物質の使用，210－238（ 和田次郎編：新しい胸部外科の臨床，医歯薬出版，東京) 1978 （欧文） （１）単著 １．Yamada,I: The structure of the pancreas,250pp(Igakushoin,Tokyo)1987 （２）共著 １．Yamada,I and Ota,G: Developmental aspects of the pancreas. pp99-113(Motta, P M, Ultrastructures of the extraparietal glands of the digestive tract. Kluwer Academic Press, New York) 1987c. 綜説……著者名：論文題名，雑誌名，巻，最初頁－最後頁，発行年  （和文） １．山田一郎、太田五郎、和田次郎：人工弁とその移植術，日医新報2357，33-40，1968 （欧文） １．Yamada,I and Ohta,G :Modified splenorenal shunt with splenopancreatic disconnection. Surgery,106, 920-924, 1986d. 原著……著者名：論文題名，雑誌名，巻，最初頁－最後頁，発行年  （和文） １．山田一郎：模型人工肺に関する研究，北海道医誌42，140-154，1977 （欧文）  １．Yamada,I and Ohta,G : Thrombosis of prosthetic valve. J Cardiovasc Surg 14, 85-92, 1972 e. 症例報告f. そ の 他Ⅲ．その他業績 その他の診療支援業績や客観的評価の資料、一般市民への公開講座、社会的なアウトリーチ活動など、形式自由で記載してください。 |

 （注）書ききれない場合は，同様式により記入のこと。